キャンサーひょうご

ひょうごがん患者連絡会ニューズレターNo.29

発行責任者 黒田裕子　　編集 武内・田村・石上・草野

〒651-2109 神戸市西区前開南町 1-2-1 阪神高齢者障害者支援ネットワーク内
TEL 078-976-5050 FAX 078-977-0224　http://hyogo-capa.net/

新年度を迎えてのご挨拶

代表　　黒田 裕子

2007 年 11 月、兵庫県で活動するがん患者団体などが連帯して「ひょうごがん患者連絡会」を立ち上げて以来、会員の理解と協力をベースに、会員みんなで支え合いながら組織体制を整備し「行動する患者団体」を目指して、活動を進めてきました。その結果、協働関係にある行政・医療機関の協力もあって、県内外でひょうごがん患者連絡会の存在と活動が広く認知され、兵庫県のがん対策推進に貢献できるようになりました。

また、2012 年 6 月には、国の第 2 期「がん対策推進基本計画」が閣議決定され、兵庫県においても第 2 期「兵庫県がん対策推進計画」策定が進められました。

ひょうごがん患者連絡会は、県当局の検討に並行して患者会案を提示して関係当局と折衝を重ね患者の意向をがん対策に織り込むよう努力してきました。

兵庫県に在住するがん患者を代表して提示した意見は、患者会の考えている「今後どうあるべきか」の気持ちを県当局に汲み取っていただくこととなりました。その意味でも当患者会の活動を評価して頂いたと思います。このことは、当局においても現場の生の声を聞くことによって、兵庫県全体の今後についての思考の強化になるのではないかと考えています。

当局として、柔軟性をもって我々がん患者会の意見をも受け止めてくださったことに感謝いたします。

新年度は、第 2 期「兵庫県がん対策推進計画」の初年度にあたります。懸案事項の解決及び新施策の推進に向けて幅広い活動を行って参ります。また、他府県患者団体等との連携も図りつつ、先進的な活動を目指しての活動を進めて参りたいと考えています。

現在、がん患者会への期待は益々増大しています。その期待のひとつに悩みの相談事業があります。がん患者及び家族が日々の生活で困ることがないように、相談事業を行い共に歩むことをお伝えいたします。がんに対する様々な事が改善されてきているように見えますが、がん患者の悩みをその人にふさわしく尊重されての相談をする所は少ないのが現状です。相談できても相談者の人格を尊重した対応がなされているとは限らないのです。私たちがん患者会は、このような状態の中でイライラすることなく、いつも穏やかなご自分でいていただけるよう、気軽に声が掛けられ、対等に相談ができる場を提供できるようにと考えています。

また、在宅が深化している近年です。在宅医療・介護サービス提供体制の充実を図るための取り組みも今年度はより具体的に強化していきたいと考えています。また、子どもの問題についてはまだ、置き去りになっているところがあります。以上の実践にあたっては、常に検証・評価しながらより具体的に活動の展開を図りたいと考えています。

今年度も活動を展開するに当たっては、皆様のお一人お一人のお力添えがあってこそ進めていけます。また、一人でも多くの賛同者が増え、仲間を強化することで、更にこれまでにない発想が出ることを期待したいものです。

皆様には当連絡会所属の各団体の強化も図られながら、今後も更に兵庫がん患者連絡会と共に歩んでくださいますようにお願い申し上げます。

平成 25 年度の活動を進めるにあたって

副会長　山本宗男(肝炎友の会兵庫支部会長)

24 年度、兵庫がん患者連絡会は色々な活動をして来ましたが、重要項目としては①がん検診受診率向上への参画（兵庫県は全国都道府県の中で 40 位以下）、②がん条例制定への取組、③兵庫県がん対策推進計画を見直して次期がん対策推進計画（5 年間計画）を作成することへの参画でした。それと共に、私自身、機会のあるたびに、各世代の健康教育の必要性を話して、行政が取り組むよう求めていくことでした。

振り返ってみますと、

① 受診率向上への参画は、何も出来ませんでした。自治体からの受診率向上の講演会での講師依頼もわずかでした。

② がん条例制定の取組は、議員や行政にアプローチを何回かしましたが、理解を得ることが出来ませんでした。その間に、全国では半分の２４道府県が制定いたしました。

③ がん対策推進計画の見直しでは、県の担当課と何回も活発に検討会を行い、新しい計画に盛込まれました。私の所属する肝臓病についても、別途何回か担当課と打合せを行いました。行政も私共のひょうごがん患者連絡会を高く評価をして下さっているようです。

④ 健康教育の必要性は、議員や行政との各種の検討会で発言を行いましたが、まだご理解とか感触は鈍いです。健康教育は、人々が健康を守る施策のメインテーマのひとつだと思いますので、今後も機会あるたびに発言をしたいと考えています。

さて、25年度の私共の活動はどのように展開していくべきかです。
がん対策は、対象が多岐にわたっています。例えば、疾病は身体の全部位におよび、労若男女により問題が異なります。また最初のがん教育から終末ケアにまで拡がって、問題が山積し、一歩一歩前進をしていかなければならない大きなテーマでもあります。

大変膨大なテーマですが、日本医療政策機構主催で5月17日～19日の間、東京で「がん政策サミット2013」が開催され、各地から患者関係者77人（34都道府県）、県庁がん対策担当者36人（23都道府県）、県議会議員19人（12道県）、医療関係者14人（12都府県）など、合わせて約180人が参加して、各都道府県（1県は策定中）のがん対策推進計画（この4月からスタート）の好事例を勉強しました。兵庫県からは患者関係者のみ6人の参加でした。

がん対策推進計画を11のアイテム（役割分担、小児がん、緩和ケア、就労、相談支援、教育、各療法の充実とチーム医療、地域の医療体制、予防、早期発見、評価と指標）、に分けて、みんなで全国のがん計画を読み込み、施策の内容や趣旨の好事例を検討しました。

25年度私共の活動は、兵庫県でこれらの施策がバランス良く進展されるように、行政を始め関係者と協働して進めていくことと考えています。またがん条例制定が、行政と一般市民のがん対策に対する理解と推進に寄与すると思いますので、進めて行きたいと思います。尚、健康教育についてですが、島根県は全小中高の生徒に保健体育の授業以外で教育をしているとのこと、長野県（県人口213万人）では、毎年1千人の研修者を目標として研修をしていると聞きました。兵庫県でも注力していきたいと考えます。

以　　上

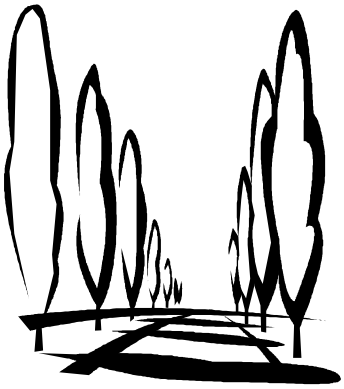
一歩・一歩さらなる一歩

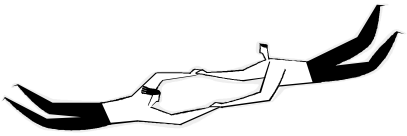
副会長　伴 智代(神戸骨髄献血の和を広げる会代表)

2013 年度がスタートしました。2012 年度を振り返ってみると、「ひょうごがん患者連絡会」としては、兵庫県の「がん対策推進計画」の内容について、がん患者会としての意見を反映させて頂けるところまで、行政との連携を強化することができました。さらに、がん条例の制定を目指す上でも議員の方々にアピールできる兆しが見えているのではないかと思います。このように考えてみますと、「ひょうごがん患者連絡会」を立ち上げて以来会員の皆様が、日々努力を重ねて下さったおかげだと感激しています。そのことがコープこうべでも認められ虹の賞の受賞につながったのだと思います。

では、私は・・・と振り返ってみますと、「何もできていない」というのが実情で、本当に申し訳なく思っています。ただ 2012 年度血液疾患の患者の代表として、造血幹細胞移植推進委員会に参加することができました。今後はこの場を通じてドクターやナースなど他の委員の方々に患者の生の声をお伝えし、上手く連携していけるようにしていきたいと考えています。また、この会議で提案させて頂いて薬務課のホームページが更新されました。各病院の移植可能時期などが掲載されています。是非一度のぞいてみてください。アクセスの方法については、「兵庫県血液疾患の治療を行う病院」で検索して見ることができます。ほんの少しの前進ですが、患者の意見を聴く姿勢を持って頂けたことが重要だと思っています。

では今年度は何がしたいのか・・・今年度については、ピアサポートの観点からも、現在ある患者サロンとの連携はもちろん、まず拠点病院の相談支援センターとのコンタクトをとることから、一歩を踏み出してみようと思っています。小さい一歩ですが、少しずつ、まじめに、ていねいに皆様と共に進めていけたらと考えています。本当に微力ですが、本年度もよろしくお願いいたします。





ひょうご がん患者連絡会の活動概況を紹介します
（2013 年４月、５月 活動分）

事　務　局

2013 年４月５日（金）：㈱エビデンス社「がんサポート」誌の取材を受けました。

エビデンス社編集部から、ひょうごがん患者連絡会のがん対策への取組みに関する取材の申入れを受けて、黒田会長、田村事務局長、武内広報担当理事の３名が応対した。

取材は、国の第２期「がん対策推進基本計画」への対応状況、第２期「兵庫県がん対策推進計画」策定への取組み、及び在宅療養支援体制構築、その他がん対策全般に関するものであった。

2013 年４月 18 日（木）：第 11 回運営委員会を開きました。

主な決定事項は次の通りである。

１、がん対策は県民総ぐるみの活動に広げるべきとの考えに基づいて、2012 年度は「市民がん医療講座」及び「在宅療養支援体制シンポジウム」を開催した。引続き 2013 年度も県民に開かれた活動を展開する。

２、がん拠点病院相談支援センター実務者会議との連携活動の強化策を検討する。

2013 年４月 26 日（金）：４月１日付けで着任された味木和喜子兵庫県疾病対策課長をお迎えして、県当局との協働活動の取組み方に関する話し合いを行いました。

主な確認事項は次の通りである。

１、兵庫県がん対策推進計画の新たな重点施策である「患者団体等と連携した相談支援等の実施」を成果あるものとするために協働関係を強化する。

２、具体的には、

１）学校などへの出前講座を行うに当たって、ひょうごがん患者連絡会の会員として何ができるかを一覧表にした資料を作成し疾病対策課に提供して、協働活動計画の作成に活用する。

２）兵庫県の委託で行った「ピアサポーター養成講座」修了者の有効活用を考える。

３）「がん検診重点市町」でのがん検診受診啓発活動に協働で取組む。など

2013 年５月 16 日（木）：「第５回ひょうごがん患者連絡会定期総会」を開きました。

2013 年度の重点課題を決定した。主なものは次の通りである。

１、がん対策推進計画でがん患者団体の責務と定められている ① 拠点病院相談支援センターでの患者・家族への相談支援、② 市町行政機関及び学校等への「がん」に対する基本的な知識及びがん検診の重要性に関する出前講座を、医師等と連携して開催、③ ピアサポーターの養成とその有効活用などの推進。

２、がん検診重点市町を中心とするがん検診受診啓発活動の推進。

３、患者の病院から在宅への移行に対応した「在宅医療・介護サービス提供体制」の充実。

４、「兵庫県がん対策推進条例」制定に向けた取組み。

2013 年５月 16 日（木）：エビデンス社「がんサポート」誌６月号に、ひょうごがん患者連絡会のがん対策に関する活動状況が掲載されました。

「がんサポート」誌は７万部発行の月刊誌で、６月号は５月 16 日に全国の書店で発売された。

取材は、がん対策全般に関するものであったが、掲載記事は「在宅療養体制」及び「在宅緩和ケア」に重点をおいたものになっている。

全国の読者から寄せられる意見を参考に、我々の活動を更に強化していきたい。

2013 年５月 17 日（金）～19 日（日）開催の「がん政策サミット 2013 春」に、代表６名が参加しました。

日本全国から 77 名の患者会代表、24 都道府県行政から 35 名の担当者が出席し、今回のテーマ「県がん対策推進計画の好事例を共有し実践していこう」に沿って、好事例を出し合って研修した。

具体的には、国のがん対策推進基本計画の施策 11 項目を、患者会代表７～８名で編成されたグループで分担して、各人が好事例都府県名を２府県あげて総合評価する形が取られた。

好事例としてあげられた府県は行政の方も出席されていて、具体的にどう考えて作成されたかの説明も頂き有益な研修会であった。

次回の疾病対策課との話合いに研修結果を報告し、兵庫県のがん対策推進に活かしていきたい。

関連団体等の公開講座行事予定（2013 年６～８月）

日時・場所	主催(TEL)・会費	テーマ・主な内容・講師
６月８日（土） 14：00～16：30 神戸市教育会館５０１号室	ゆずりは公開講座 （078-976-5050） 一般 800 円、学生 500 円	「最期まで笑って生きるために」 ・上智大学名誉教授 A デーケン先生 (講演会終了後に先生を囲む懇親会あり：要申込)
６月 24 日（月） 16：00～18：00 県立がんセンター２階会議室	ゆずりは明石公開フォーラム （078-911-6761 草野） 無　料	「がんと口腔ケア」 ・口腔外科　がんセンター医師 ・がん専門看護師 橋口周子氏 ・管理栄養士
６月 29 日（土） 14：30～17：00 **姫路市中ノ門シャポービル4階**	あじさい会セミナー （079-222-6789 だいとうｸﾘﾆｯｸ） 無　料	「がんと向き合う～知って欲しい すい臓がんの診断・治療と経過観察～」 ・神崎総合病院消化器外科 高田孝好副院長 ・患者の立場から　和田豊子氏
７月 13 日（土） 13：00～15：30 兵庫県民会館３０４号室	ゆずりは公開映画鑑賞会 （078-976-5050） 一般 800 円、学生 500 円	「いのちがいちばん輝く日」 ・滋賀ヴォーリス記念病院のホスピスの 日常を描いたドキュメンタリー映画

関連団体等の「がんサロン」予定（2013 年６～８月）

主催(TEL)・会費・場所	テーマ・主な内容・講師	日　　時
ゆずりは明石「明石話そう会」 （078-911-6761 草野）無　料 兵庫県立がんセンター １階	患者、家族の悩みを分ち合い 前向いて生きる寄り添える会を 目指しています	・６月３日、17 日（月） ・７月１日（月） 10：00～12：00
ゆずりは明石「明石楽しもう会」 （078-911-6761 草野）300 円 明石市立保健センター３階	・6/11 「自力整体」　藤原 寿乃 氏 ・7/2 「歌声カフェ」宍戸真理子 氏	・６月 11 日（火） ・７月２日（火） 10：00～12：00
ゆずりは明石「がん相談」 （078-911-6761 草野）無　料 明石市立保健センター1 階	「がん」についての無料相談 相談員：ゆずりは明石会員の 看護師・保健師・がん体験者	・毎月第４火曜日 13：00～16：00
ゆずりは「がんサロン」 （078-976-5050）500 円（茶菓子代） 地下鉄伊川谷駅構内伊川谷工房	お茶を飲みながら 病や悩みについて 自由に語り合います	・6 月 25 日、7 月 23 日（火） ・８月はお休みです 13：30～15：30
ゆずりは淡路「淡路市サロン」 （090-6734-1275 山本）無　料 淡路市社会福祉協議会 １階	ひとりで悩まないで 患者さんや家族の方同士で 話し合いましょう	・毎月第４金曜日 14：00～16：00
ゆずりは淡路「南あわじ市サロン」 （090-6734-1275 山本）無　料 南あわじ市社会福祉協議会三原支部	ひとりで悩まないで 患者さんや家族の方同士で 話し合いましょう	・毎月第２水曜日 14：00～16：00
神戸医療ｾﾝﾀｰ「コスモスの会」 (078-791-0111、内線 460) 無 料 神戸医療ｾﾝﾀｰ「がん相談支援室」	・苦しみや悩みなどの気持を 自由に語り合い支え合いましょう ・情報交換をして知識を高め合いましょう	・ 毎月第３水曜日 14：00～16：00
県立淡路病院「菜の花サロン」 (0799-22-1200) 無　料 県立淡路病院１階「医療相談室」	どなたでも 自由に参加されて 自由に語り合いましょう	・ 毎月第３火曜日 ９：30～12：00
だいとうクリニック「花みずき」 (079-222-6789) 無　料 姫路市白銀町中ノ門ｼｬﾎﾟｰﾋﾞﾙ１階	・患者や家族間のコミュニケーション ・医療情報の提供 ・療養相談全般 ・インターネット検索・ちょっと休憩	・サロン：第３火曜 14：30～16：00 ・絵手紙教室：第３火曜 12：00～14：00

ひょうご がん患者連絡会行事予定（2013 年６,７月）

日　　時	行事・会費	テ　ー　マ・講　　師	場　　所
６月 20 日（木） 18：00～20：00	第９回がん患者会 研修公開講座	「“在宅医療推進協議会”の 活動経過と今後の取組み」 ・兵庫県医務課長　薮本訓弘 氏	兵庫県民 会館 301 号室
20：00～21：30	第２回運営委員会	・「がんｻﾐｯﾄ 2013 春」研修成果ほか	
７月 18 日（木） 18：00～20：00	疾病対策課との話合い	１、県当局との協働活動について ２、がん対策推進計画への取組み	兵庫県民 会館 301 号室
20：00～21：00	第３回運営委員会	・当面の活動計画ほか	
７月 21 日（日） 14：00～16：30	第２回がん医療 市民講座	「がん と“うつ病”」 ・関西労災病院 心療内科・精神科 第２部長　辻本 浩　医師	神戸市 教育会館 501 号室

ニューズレターの編集について

このニューズレターは、４団体から応募いただいた編集委員による協議で編集し、会長の査閲を経て発行しています。

ニューズレターは 2008 年 9 月の創刊号以来、奇数月に発行し、ひょうごがん患者連絡会の活動概要報告及びお知らせページのほかに、文頭に各会員の持ち回り執筆文及び寄稿文を掲載しております。

この第 29 号は「定期総会特別号」として、会長、副会長に執筆頂きました。

第 30 号からは再び会員の持ち回り執筆と致します。みなさま方には、各会員団体等の活動状況などをご一読いただきたくお願い致します　　（ 事 務 局 ）

編 集 後 記

今月号は「定期総会特別号」として、会長、副会長の今年度の活動に関する抱負などを掲載しております。

ひょうごがん患者連絡会は６年目を迎えて、その存在と活動が全国的にも認知されるようになってきました。兵庫県で唯一のがん患者団体連合組織として、県民のみなさまの期待に応えられる活動を続け、日本のがん対策の改善に努めて、“がん罹患患者数の少ない社会”、“がんに罹患しても安心して生活の続けられる社会”の実現に貢献したいと考えております。

会員のみなさま、および行政、医療、報道関係のみなさまには、是非ニューズレターをご一読いただき、ご意見などお聞かせいただきたく、よろしくお願い致します。

（ 事務局次長　田村美生夫 ）